第10回シンポジウム　　近代酪農発祥之地「嶺岡牧」

主旨：嶺岡牧は徳川幕府の庇護のもとに牛を放牧・蕃殖し、白牛酪を製造してきた歴史的記録を有している事から、近代酪農之発祥地であると言われています。今回のシンポジウムでは、近年、現地で活発に実施されている嶺岡牧の遺構及び古文書調査を踏まえ、科学的研究の成果が明らかになってきました。加えて、これからの嶺岡牧の遺産の在り方を考える上で新たな知見・理論を提案します。

月日　　平成28年9月24日（土）12：30分受付開始
会場　　日本大学櫻門会館（中央線・総武線市ヶ谷駅下車徒歩3分）

開会挨拶　中瀬信三　（日本酪農乳業史研究会会長）（13:30～13：35）

基調講演　遺構が語る嶺岡牧の姿　（13:35～14：15）
わくわくどきどき過ごして　日暮晃一氏
　嶺岡牧に存在する野間土手や木戸などの遺構に関する初めての科学的調査の成果に基づき、従来解明されてこなかった嶺岡牧の姿を解説いたします。

講演1　古文書からみた嶺岡牧　（14：15～14：45）
有限会社アルケーリサーチ　金澤真嗣氏
　嶺岡地域に眠っていた古文書の収集及び解読をした結果、嶺岡牧の歴史の姿を検証いたします。

講演2　嶺岡牧の民営化（安房酪農の勃興）　（14：45～15：15）
元関東生乳販連常務理事　林克郎氏
　明治期以降、嶺岡牧社及び嶺岡畜産㈱などが設立され、乳牛の改良、煉乳事業などを展開した安房酪農の発展経過を明らかにします。

講演3　「嶺岡牧再生マネジメント実証」方式（15：15～15：45）
嶺岡牧研究所研究員　牛村展子氏
　嶺岡牧の歴史的遺産の保存、活用及び取組の現状と今後の方策について解説します。

休憩　展示物の説明及び試飲試食　（15：45～16：00）

パネルディスカッション（質疑応答）　　（16:00～16：55）
近代酪農発祥之地「嶺岡牧」

パネリスト：　日暮晃一氏（わくわくどきどき過ごして）
金澤真嗣氏（(有）アルケーリサーチ）
林　克郎氏（元関東生乳販連常務理事）
牛村展子氏（嶺岡牧研究所研究員）

コーディネーター 石田三示氏（大山千枚田保存会理事長）

講師の追加講演、質疑応答を踏まえて歴史的遺産「嶺岡牧」について総括いたします。

閉会挨拶

併設　催事コーナー　　嶺岡牧の姿をパネル展示いたします。
飲物・飲食コーナー　関連した乳製品を賞味して頂きます。

交流会　　（4F 櫻ホール）　　（17：00～18：30）
嶺岡牧について講師と参加者が歓談していただき、近代酪農の発祥地について意見交換しながら交流会を開催いたします。

以上